

今月のトピックス 「テントウムシ類について」

1 たくさんのテントウムシ類

日本にテントウムシの仲間はなんと80種類ほどあります。食べ物もいろいろで、特定の植物を加害するものは農業害虫になりますし、アブラムシやカイガラムシを捕食するものは天敵として有用です。農業関係でよく目につくものをあげてみましょう。以下の種類では成虫・幼虫が同じ餌を食べます。

2 ナミテントウ

体長8mmほどで、いろいろな模様があります。アブラムシ類を好みますが、他の小さな害虫も食べるようで、野菜や果樹など広範囲な農作物で天敵として重要な役割をはたしています。20~25℃が活動の適温で、春先から初夏にかけてと年によっては秋に活動します。



(上段：模様の変異)
(下段：幼虫・卵、写真は農業研究所提供)

3 ナナホシテントウ

体長8mmほど。アブラムシ類を専門に食べます。高いところが苦手なので、もっぱら地表近いところの作物で生活しま



す。春先から晩春にかけてと秋に活動しますが、ナミテントウよりやや低い温度が活動の適温です。一番普通に見られるテントウムシです。

4 ヒメカメノコテントウ

体長5mmほどで、模様に二つの型があります。アブラムシ類を専門に食べます。小型のカメムシなので、捕食量は上記2種に及びませんが、暑さに強く、施設内や真夏でもどんどんアブラムシを食べてくれます。



5 ベダリアテントウ

体長4mmほど。かんきつ類のイセリヤカイガラの防除のために台湾から導入され、みごとそのカイガラムシを農業防除しなくてすむほどに激減させました。餌となるカイガラムシが減ったために普段はあまり見かけませんが、地道に活躍しています。



6 ニジュウヤホシテントウ

体長8mmほど。重要な害虫です。テントウムシダマシとも呼ばれ、ナスやジャガイモなど露地のナス科作物の葉を網目状にしてしまいます。模様のよく似たナミテントウがありますが、ナミテントウの背中にはツヤツヤ光り、ニジュウヤホシテントウではビロード状です。

